令和5年度 学校経営方針

1 学校経営の基調

日本国憲法・教育基本法・学校教育法等の関係法規に則り、本県・本地区・本市の教育 方針や重点施策に基づき、歴史や伝統、生徒や地域の実態を踏まえ教育を展開する。また 生涯学習の基礎を養い、社会の変化に柔軟に対応し、自ら未来を切り拓いていこうとする 「生きる力」を身に付けた、心身ともに健康でたくましい人間性豊かな生徒を育成する。

2 学校経営の基本方針

- (1) 教育に従事する教育者として、協調性に富み、専門職としての教養と識見を高め、学び続ける教職員としての矜持を忘れず、活力ある西指宿中学校の創造に努める。
- (2) 人間尊重の精神に徹し、自他の生命や人権を重んじる心、規範意識や正義感、粘り強さや主体性など、生きる力を身に付け社会に通用する生徒の育成を図る。
- (3) 家庭や地域,関係機関・団体との連携を深めながら,9 か年のつなぎを意識した小中一貫教育活動を推進し、地域の信頼に応え、地域に根ざした特色ある学校づくりに努める。

3 社会の要請

- (1) 新学習指導要領を基に「主体的・対話的で深い学び」の授業改善,新しい時代に求められる資質・能力を育むための「社会に開かれた教育課程」の実現,学習の基盤となる資質能力を育成するためのカリキュラムマネジメントの確立をめざす。
- (2) 勤務時間の上限に係る条例・規則を基に、業務改善アクションプランの実践等,学校における働き方改革を推進する。

4 重点目標と具体策

(1) 主体的な学びの育成

/ 工作的な子のの自然	
①確かな学力の定着	ア 主体的に学び合い、考えを深めながら課題を追求する自
【各教科3点アップ】	学力の育成
	イ 生徒同士が関わり合い、学び合うため、教師主導の授業
	から生徒主体へパラダイムシフト
	ウ 徹底した補強で自習ゼロ実現
	エ プレテスト・ポストテスト・かごしま学力向上支援 Web
	システム等の有効活用
	オ いぶすき授業ポイント10を意識した授業改善
	(特に終末の振り返りの充実 8・9)
②ICT 機器の活用と充	ア GIGA スクール構想に基づいた活用の充実
実	イ どの教科でも、誰でもが活用できるような教師、生徒の
【双方向的学習】	情報活用能力の育成
	ウ 緊急時に一人一台端末を使用できる体制づくり
③小中一貫教育の充	ア 小中一貫教育グランドデザインに基づき,小中9年間を
実	見通した教育実践の積み増し
【つなぐ・そろえる】	イ 職員の合同研修会の充実
	ウ 児童生徒の交流学習の充実
④キャリア教育の充	ア キャリア形成を図る体験学習の充実
実	イ キャリアパスポートの継続的活用
【主体的な進路学習】	ウ 主体的に進路選択できる系統的・計画的な取組の充実
	エ 自己理解・自己管理能力を育む取組の充実

(2) 豊かな心の育成

) 豊かな心の育成	
①道徳教育・人権教	ア 特別の教科道徳の計画に基づき「考え、議論する道徳」の
育の充実	実践
【Momの実践】	イ 西中ニコニコデー (毎月25日), いじめ問題を考える週
	間,人権週間を活用した取組の充実
	ウ 人権教育資料「なくそう差別 築こう明るい社会(陽だま
	り)」の有効活用及び,年3回の校内研修の充実
②絆づくり・居場所	ア 生徒一人一人のよさを生かし、自己有用感を高める学級
づくりを軸にした学	経営
級経営の充実	イ 構成的グループエンカウンター等の取組を通した,望ま
【自己有用感・自己	しい人間関係づくり
肯定感の育成】	ウ「体育祭」「文化祭」の行事や学級活動を通し集団でやりき
	った過程や努力を認め、個や集団の成長を実感できる取組
③主体性や自治力を	ア 主体性を育成する生徒会活動
育む特別活動の充実	イ 互いの意見の違いを超え、よさを生かしながら合意形成
【人間関係形成・社	を図ったり意思決定したりする話し合い活動の充実
会参画・自己実現】	ウ よりよい人間関係を形成し集団や社会, 自己の生活上の
	課題を主体的に解決することができる生徒の育成を目指し
	た取組
④ふるさと教育の推	ア 愛郷心が高まるふるさと学の充実
進と開かれた学校づ	イ 地域の方との交流を通し、地域の一員としての自覚を高
くりの充実	め,主体的な地域連携ができる力の育成
【未来の担い手を育	ウ 学校運営協議会、校区青少年育成会議等を通して地域と
む人材育成】	連携した協力体制を構築するとともに、学校たよりや諸通
	信,学校ブログによる積極的な情報発信の継続

安心・安全な学校づくり

①安全教育の充実	ア 月1回の安全点検及び危険箇所改修の確実な遂行
【校内及び通学中の	イ 地震・火災・不審者・引き渡し訓練を通した危機管理能力
事故ゼロ】	の育成
	ウ PTA と連携した朝の立哨指導や下校安全指導の実施
②生徒指導の充実	ア 生徒指導委員会を通した情報共有及び共通実践
【いじめ・体罰ゼロ・	イ 養護教諭のコーディネートによる相談体制の充実
学校満足度 90%】	ウ SC, SSW, 市教育相談員等,家庭との連携
	エ 学校楽しいーとの効果的な活用
③特別支援教育の充	ア コーディネーターを中心とする校内支援体制の充実
実	イ 個別支援計画に基づく支援の充実
【個別の支援計画の	ウ ユニバーサルデザインの視点による環境整備
100%作成】	(ないと困る支援からあると便利な支援へ)
④保健体育指導の充	ア 部活動の練習計画策定や休養日の設定
実	イ 健康教室の実施(性・食育・薬物・血液・メディアに係る
【心身の健康の保持	専門家招聘)
増進】	ウ 感染症対策の継続した対応